学校番号	T0104

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	子どもの発達と保育　育つ・育てる・育ちあう　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科はこれから生活を営む上で基礎・基本となる大切な教科です。
保育に関する事柄を専門的に学習し、実習・実験を通して保育の技術を身につけていきます。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得し、
子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達の特性や発達過程、保育などについて感心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	子どもの発達や子育て支援について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する基礎的・基本的な技能を身につけている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	・プリントの感想欄等の記述 ・授業に向かう姿勢	・プリントのワーク欄等の記述 ・定期考査の結果	・実習の技能 ・実習のレポートの記述 ・定期考査の結果	・定期考査の結果 ・映像の鑑賞 ・提出プリントの記述
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	子どもの発達の特性	子どもの発達の特性を学ぶ	○			○	a: 子どもの発達の特性について感心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている b: 子どもの発達の特性について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている c:実習を通して、子どもの発達の特性に関する基礎的・基本的な技能を身につけている d: 子どもの発達の特性に関する基礎的・基本的な知識を身につけている	学習状況 ノート プリント 観察・意欲 定期考査
		保育実習①オムツの実験 (吸水実験)	○	○		○		
		子どもの発達過程について学ぶ	○	○		○		
		保育実習 おもちゃ製作 (サイコロ)	○		○	○		
		調理実習 (離乳食)	○		○	○		

後期	子どもの生活	子どもの生活の特徴を学ぶ	○			○	a:子どもの生活について感心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている b: 子どもの生活について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている c:実習を通して子どもの生活に関する基礎的・基本的な技能を身につけている d: 子どもの生活に関する基礎的・基本的な知識を身につけている	学習状況 ノート プリント 観察・意欲 定期考査
		子どもの栄養の特徴を学ぶ	○	○		○		
		調理実習 （おやつ）	○		○	○		
	子どもの福祉	子どもの保育について学ぶ	○			○	a:子どもの福祉について感心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている b:子どもの福祉について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている c: :子どもの福祉に関する基礎的・基本的な技能を身につけている d: :子どもの福祉に関する基礎的・基本的な知識を身につけている	
		子どもの福祉と子育て支援について考える	○	○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。